

第3回例会

一般質問から

公明党
三上 裕久

公立病院の在り方について

【質問】 自治体の枠を越えた中空知の公立病院の在り方を協議し、方向性を共有しながら将来的な経営統合を視野に検討を進めるための（仮称）中空知連絡協議会の設立についての環境をどのように醸成していくのかを伺う。

【答弁】 中空知の病院の在り方については、中空知地域医療構想調整会議があり、病院事務長の意見交換会や専門部会の開催も予定されています。中空知地域としては、中核的な医療機関の維持、特に急性期機能の維持は非常に重要であり、それに向けて各病院がどういった機能を担い、どういった協力をしていくかということになります。医療の再編やネットワーク化については、国や北海道の先導が必要と考えています。

【質問】 滝川市立病院の将来の在り方として、各自自治体の市立病院との経営統合あるいは民間への譲渡などの選択肢もあるが、市長の見解を伺う。

【答弁】 市立病院では、経営分析支援業務について委託し、収支改善に取り組んでいます。将来の人口減少による市立病院のネットワーキ化や公立病院の再編は避けられないと考えます。

その際にも市民の皆さんのために地域医療を守ることを最優先し、判断していきます。

人工透析患者への支援について

【質問】 週3回の受診が必要な人工透析患者の通院費負担の軽減を図るため、今ある障がい者への交通費助成への上乗せ助成が必要と考えるが、見解を伺う。

【答弁】 身体障害者手帳をお持ちの方については、タクシー運賃の割引やバス運賃の福祉割引を利用できるほか、75歳以上の方については、バスの敬老特別乗車証を利用していただくことも可能で、現時点では、交通費助成への上乗せは考えていません。

公明党
堀 重雄

財政健全化について

【質問】 人口減少による税収減が見込まれるが、5年、10年後の財政の見通しと課題を伺う。

【答弁】 平成27年12月に策定した財政健全化計画では、収支改善目標を5億円として進めてきましたが、おおむね達成できる見込みとなります。

しかし、新たな課題として市立病院の経営改善が急務となり、来年度以降、一般会計からの繰出しが想定されるほか、会計年度任用職員制度や公共施設の集約・複合化のため、今後5年間は、非常に難しい財政状況が予想されます。

その後においても、人口減少による税収減や地方交付税の伸びが見込めない中で、老朽化した学校施設の長寿命化や改修などの課題もありますので、今年度策定する第2期財政健全化計画を組織一丸となって着実に実行し、効率的・効果的な財政運営に努めます。

自転車保険加入について

【質問】 市民の自転車保険加入状況とその周知について伺う。

【答弁】 保険加入状況は、保険代理店に問い合わせたところ、北海道自転車条例が施行された昨年の春より保険の問い合わせが増えていると聞いています。

周知について、小・中学校では、「小・中学生総合補償制度」の加入を保護者に呼びかけており、高校については、ホームルームで保険加入のチラシを配付しています。

また、市民向けには、毎月班回覧の情報誌で周知しており、老人クラブでは、年30回程度訪問して交通安全講話の中で周知しています。

なお、自動車保険、火災保険や傷害保険の特約として、自転車事故の補償が可能なケースもありますので、このような情報もあわせて周知していきたいと考えています。

【質問】 自転車保険加入促進のための条例化について考えを伺う。

【答弁】 条例化については、条例の目的や実効性の担保などを勘案して制定しなければならないと認識しています。